☆アスベスト処理フロー

優先順位１
（特別管理産業廃棄物）

建築物の調査　2005年12月12日

吹付け材か（飛散性か）

吹付け材（飛散性）

含有分析調査

・定性分析
↓
・定量分析

2006年1月23日試料採取
2006年2月17日分析

無石綿製

石綿製品周り空気濃度

位相顕微鏡
係数法

2006年2月20日資料採取
2006年2月28日測定

＜対策＞
除去工法
封じ込め工法
囲い込み工法

保管方法
収集運搬
処分方法
等の確認

＜結果＞
吹き付け箇所が13箇所あり、6箇所でクリソタイルアスベストが17～53%含有していた。
すぐに、空気濃度測定を行い飛散していないことを確認した。
＜対策＞
アスベスト含有箇所は、全て除去処理を2006年9月で完了した。

優先順位２

吹付け材以外（非飛散性）

含有可能性建材使用
１箇所の測定調査

空気濃度測定

06年3月29・30日測定

対策・対応検

06年4月27日飛散は
検出されなかった

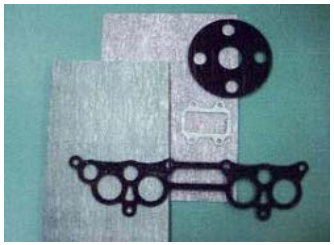
アスベスト成型板、平板・波板ボード、
スレート ビニール床タイル、
外壁サイディング、セメント板　など

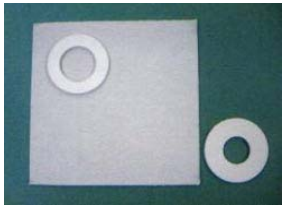
＜対応＞　2006年4月27日
当面は現状維持とする。
改築、解体時には、各事業所のアスベスト含有可能性調査内容を、業者に連絡し、協議して工事を進める。

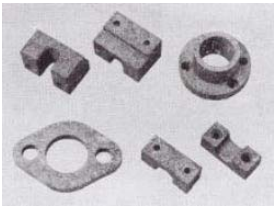
優先順位３

工業製品の調査

パッキン類、保温材、クラッチ
断熱材、耐熱・絶縁材、
シール材、断熱接着剤等







＜対応 ＞　2006年 4月27日
非常に細かくなるので、使用箇所調査、含有調査及び飛散測定は行わない。

工場の保守、技術に今後は上記製品使用時には、不含有を確認し使用するように連絡する。